



UQ mobile ロゴガイドライン

- 22/03/25 第1稿
- 23/04/01 縦書きから、横書きへ変更
- 23/12/25 不要事項を削除
- 25/03/14 P.16 全ロゴ共通_使用禁止例_一部修正・追記
- P.17 全ロゴ共通_背景色の禁止例_一部修正
- P.18 全ロゴ共通_他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法 [ページ追加]
- P.19 全ロゴ共通_協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について [ページ追加]
- P.23 UQ mobileとUQ WiMAXの併記ルール_使用禁止例_一部修正

UQ mobileロゴガイドラインでは、「UQ mobile」マークを「ブランドロゴ」として定め、全ての媒体においてブランドシンボルとしての尊厳性を守りながら、統一的に活用するためのルールを説明しています。

基本デザイン要素は、UQ mobileの価値をシンボライズした最高位のデザイン要素であり、ブランドロゴ「UQ mobile」、ブランドカラーで構成されます。ブランドの信頼性を保つためには、あらゆる媒体で統一的に、効果的に展開することが必要です。

ブランドロゴをルールに則り正しく活用し、ひと目見て「UQ mobileらしい」とお客さまに感じて頂けるビジュアルを作成することによる、ブランドイメージの統一・向上を図りましょう。

なお、ブランドロゴの使用にあたって不明な点が生じた場合は、以下までお問い合わせください。

2022年3月

KDDI 株式会社

ブランドマネジメント部

1

ブランドロゴの種類と定義

- 05 ブランドロゴの種類と使用優先順位
- 06 スローガン付きブランドロゴの使用方針
- 07 正式な名称表記
- 08 正式なスローガン表記

2

UQ mobileロゴに関する定義の詳細

- 10 全ロゴ共通__ブランドカラーについて
- 11 ①スローガン付きブランドロゴ
- 12 ②ブランドロゴ
- 13 スローガン付きブランドロゴ__保護領域と最小使用サイズ
- 14 ブランドロゴ__保護領域と最小使用サイズ

3

禁止事項と制作表現規定

- 16 全ロゴ共通__使用禁止例
- 17 全ロゴ共通__背景色の禁止例
- 18 全ロゴ共通__他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法
- 19 全ロゴ共通__協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について

4

UQ mobileとUQ WiMAXの併記ルール

- 21 保護領域と最小使用サイズ
- 22 表示色
- 23 使用禁止例

ブランドロゴの種類と定義

- 05 ブランドロゴの種類と使用優先順位
- 06 スローガン付きブランドロゴの使用方針
- 07 正式な名称表記
- 08 正式なスローガン表記

ブランドロゴには、スローガンの有無に加え、ポジティブ表示、モノクロ表示、ネガティブ表示があります。使用優先順位の考え方を記載しています。ルールに則り、適切な使用をお願いいたします。

使用 優先 順位	優先度高→優先度低					
ロゴの 種類	スローガン付き ブランドロゴ ポジティブ表示 シンプルを、みんなに。 	スローガン付き ブランドロゴ モノクロ表示 シンプルを、みんなに。 	ブランドロゴ ポジティブ表示 	ブランドロゴ モノクロ表示 	スローガン付き ブランドロゴ ネガティブ表示 シンプルを、みんなに。 	ブランドロゴ ネガティブ表示 
	スローガンを示す場合は、特別な場合を除き、このロゴを使用します。スローガンの有無は次のページで規定します。		UQ mobileブランドの核として、基本になるものです。		カラー表示が背景や媒体性質上、難しい場合の表現です。	

ブランドロゴに、
スローガン「シンプルを、みんなに。」を併記したロゴです。
スローガンを示す場合は、特別な場合を除き、
このロゴのいずれかを使用します。

縦組み
センター合わせ



横組み
センター合わせ



横組み
左合わせ



スローガンは、そのブランドがお客さま・社会にとってどういう存在でありたいか、その理念や世界観を一言で表現したものであり、積極的に使用していきます。
ただし、掲載ロゴが小さくスローガンが見づらくなるといった視認性の問題などにより、スローガン無しブランドロゴを推奨する場合があります。
右図ご参照の上、ロゴ使用申請を実施してください。

表示媒体 \ ロゴの種類	スローガン付きブランドロゴ		ブランドロゴ	
				
ポスター		●		
告知媒体（雑誌・新聞・OOH等）		●		
バックパネル		●		
単独協賛		●		
複数社による協賛		●		
発表会・展示会、イベント		●		
総合カタログ、サービスカタログ等		●		
ダイレクトメール、封筒		●		
販促ノベルティ		●		
TV・動画等		●		
WEBページ・WEBページバナー		●		
プレゼンテーション資料		●		
自社使用アイテム（衣装、作業着、ヘルメット等）		●		
端末・周辺機器・取扱説明書			●	
申込書、請求書、契約書			●	
看板・什器（使用場所等によって判断）		●	●	
施設・設備			●	
他社制作物（販売代理店を含む）			●	
UQ mobileスクエアロゴ			●	
その他出所表示をすべきもの			●	

実際の使用の際は、ブランドマネジメント部にご相談ください。

■ 名称の表記ルール

名称を、文章中などで打ち文字で表記する場合、
下記のルールに基づき正しく表記してください。

UQ mobile

半角スペース

禁止事項

uq mobile / UQ MOBILE / UQ Mobile

大文字、小文字の表記が異なるため。

ゆーきゅー もばいる / ユーキュー モバイル

ひらがなやカタカナ表記をしてはならないため。

文章中にブランドロゴを表示しないでください。

特例事項

UQモバイル

「UQ mobile」は原則英語で表記しますが、

特例として「UQモバイル」と表現する場合があります。

この場合は、「UQ」の文字が独立して見えるため、スペースは入れません。

■ スローガンの表記ルール

スローガンを、文章中などでテキストで表記する場合、
下記のルールに基づき正しく表記してください。

シンプルを、みんなに。UQ mobile

半角スペース半角スペース

禁止事項

シンプルを、みんなに。UQ MOBILE

シンプルを、みんなに。Uq mobile

シンプルを、みんなに。uq mobile

大文字、小文字の表記が異なるため。

シンプルを、みんなに。

UQ mobileの表記がないため。

しんぷるを、みんなに。

全てをひらがな表記に、してはならないため。

UQ mobileロゴに関する定義の詳細

- 10 全ロゴ共通__ブランドカラーについて
- 11 ①スローガン付きブランドロゴ
- 12 ②ブランドロゴ
- 13 スローガン付きブランドロゴ__保護領域と最小使用サイズ
- 14 ブランドロゴ__保護領域と最小使用サイズ

UQ mobileのブランドイメージを统一的に表現していく上で、ブランドカラーは効果的な役割が期待できる重要な要素です。
必ずブランドカラー(UQライトブルー、UQ mobileピンク)の規定を遵守し、十分な色校正を行って忠実な再現を心がけてください。

■ブランドカラー (UQライトブルー)



PANTONE : Hexachrome Cyan C
CMYK : C90+M20+Y0+K0
RGB : R0, G153, B255

■ブランドカラー (UQ mobileピンク)



PANTONE : 219C
CMYK : C0+M100+Y0+K0
RGB : R228, G0, B127

参考 : UQ WiMAXブランドカラー

■ブランドカラー (UQライトブルー)



PANTONE : Hexachrome Cyan C
CMYK : C90+M20+Y0+K0
RGB : R0, G153, B255

■ブランドカラー (UQダークブルー)



PANTONE : 2746C
CMYK : C100+M90+Y0+K0
RGB : R0, G51, B153

正しい「ブランドカラー」を再現するために、以下の運用をお願いいたします。

【印刷物・ノベルティなどインクを使うもの】

特色が使える場合は、必ず「PANTONE : Hexachrome Cyan」、「PANTONE 219C」、インクを使用の上、発注先においてカラーチップ(色見本)による色校正を徹底してください。

【WEB】

ディスプレイの種類や設定、角度など、閲覧者の環境により色のばらつきが出るのはやむをえませんので、制作者は必ずRGB(R0, G153, B255、R228, G0, B127)を遵守してください。カラーチップによる色校正は必要ありません。

【カラーチップの配布について】

上記の運用を徹底するため、制作物の発注が必要な部署に「UQライトブルー」、「UQ mobileピンク」のカラーチップを配布いたします。カラーチップが必要な場合は、使用用途と併せてブランドマネジメント部までご連絡ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

基本は縦組みですが、スローガンを強調する場合など使用目的や使用箇所に合わせて横組みも使用可能です。それぞれセンター合わせと左合わせが用意してありますので、表示環境、表示スペースに合わせて適宜最適なものを選択し表示してください。

縦組みセンター合わせ



横組みセンター合わせ



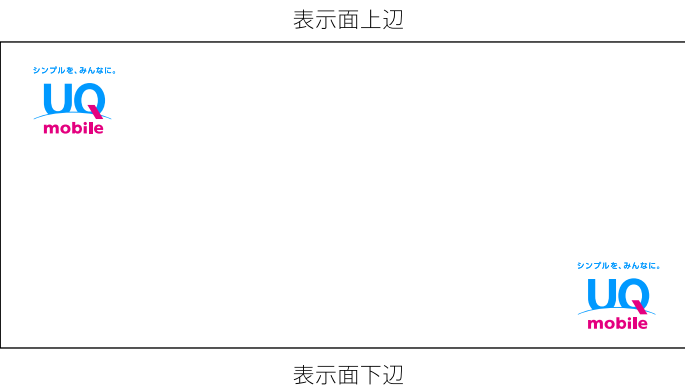
横組み左合わせ



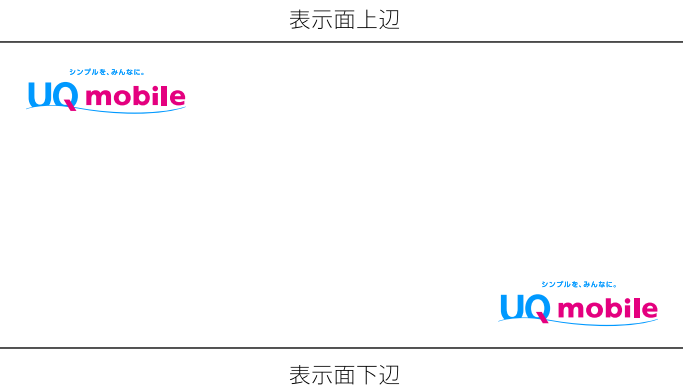
■ ロゴの配置について

スローガン付きブランドロゴは、UQ mobileとしての統一感の醸成及び視認性の観点から、特別な事情がない限り、基本表示を使用し、左上隅に配置してください。スローガン付きブランドロゴの大きさや位置については、下図を参考にして、表示する媒体において最も効果的な表示方法を検討してください。

・ 基本表示 基本規定位置



・ 横組み 基本規定位置



基本規定位置に配置できない場合、
右下隅に配置することも可能です。

注意事項

- 一紙面（WEBでは1画面）につき、原則1つのブランドロゴを使用します。
- 例外的に複数のブランドロゴを使用する場合は、必ずブランドマネジメント部にご相談ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

■ ポジティブ表示

「UQ mobile」のブランドロゴは、UQ mobileブランドの核となる要素であり、最優先に使用する基本形です。使用する場合は、ブランドカラーなどの規定を遵守し、必ず電子データを使用して、忠実に再現してください。



■ モノクロ表示

基本表示色以外に、印刷の都合や表示アイテムの性格、表示の目的によっては、下に示したモノクロでの表示も可能です。



■ ネガティブ表示

背景が濃く、ブランドロゴでは視認性が悪くなる場合は、ネガティブ表示を使用します。



注意事項

一紙面（WEBでは1画面）につき、原則1つのブランドロゴを使用します。
例外的に複数のブランドロゴを使用する場合は、必ずブランドマネジメント部にご相談ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

■ 保護領域について

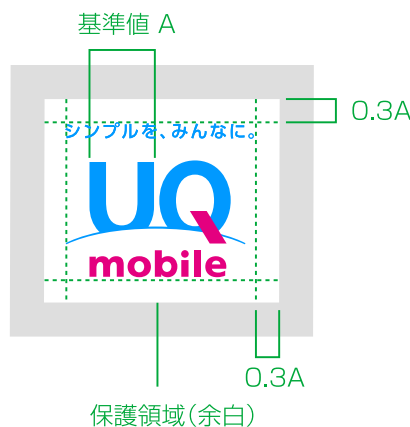
UQ mobile ロゴの表示は独立性、識別性を持って行うことが重要です。そのため、UQ mobile ロゴを表示する際には、その周辺に一定の保護領域(余白)を設けています。原則としてこの領域内には、他のデザイン要素や文字などを表示してはいけません。示しているのは確保すべき最小限の保護領域ですが、具体的な表示にあたっては可能な限り大きな保護領域(余白)を設けるように配慮してください。

■ 最小使用サイズ

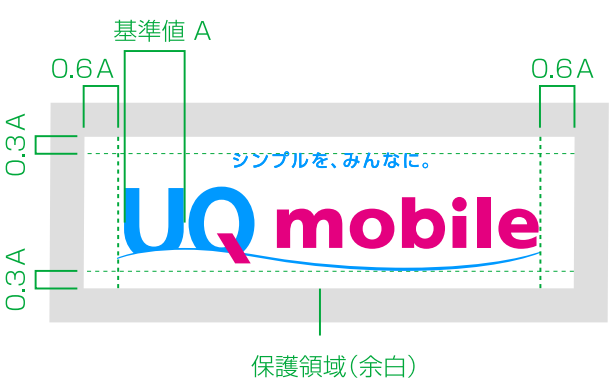
表示環境や表示条件の制約がない場合、原則として、スローガンの可読性を保つところまでを最小サイズとします。

右図の数値を参照にしてください。ただし、実寸サイズでの目視での確認を必ず実施してください。

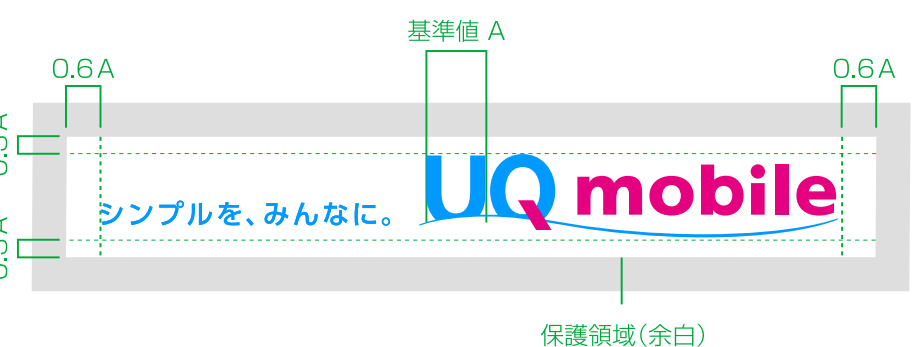
・縦組みセンター合わせ



・横組みセンター合わせ



・横組み左合わせ



・紙面での最小使用サイズ（左）

・WEBやモニタでの最小使用サイズ（右）

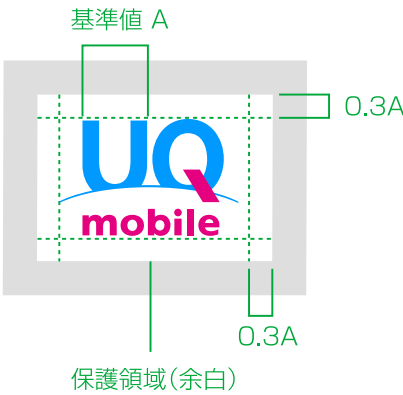


本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

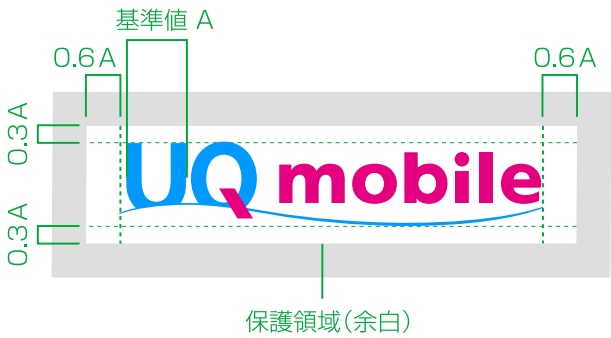
■ 保護領域について

ブランドロゴの保護領域(余白)の規定です。原則としてこの領域内には、他のデザイン要素や文字などを表示してはいけません。規定を遵守し適切な表示を行ってください。

・ 縦組み



・ 横組み



■ 最小使用サイズ

表示環境や表示条件の制約がない場合、原則として、紙面の場合は縦組み左右13mm、横組み16mm以上、WEB/モニタの場合は縦組み左右37px、横組み左右46px以上で使用してください。

- ・ 紙面での最小使用サイズ (上)
- ・ WEBやモニタでの最小使用サイズ (下)



左右13mm以上
左右37px以上



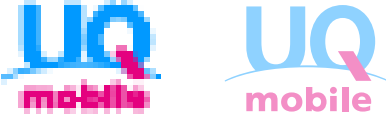
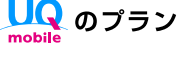
左右16mm以上
左右46px以上

禁止事項と制作表現規定

- 16 全ロゴ共通__使用禁止例
- 17 全ロゴ共通__背景色の禁止例
- 18 全ロゴ共通__他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法
- 19 全ロゴ共通__協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について

UQ mobile ロゴの独立性確保、ロゴイメージの統一を目的として、以下を使用禁止とします。

一貫したブランドコミュニケーション展開を行うためにも、ロゴの誤用は避けるようお願いします。

 変形してはならない。 (縦横比率を変えてはならない。)		 フチドリで表示してはならない。	 不適切な解像度や識別性を損なう表示をしてはならない。	
 立体的な表示や影をつけてはならない。		 表示色を変えてはならない。	 斜めに表示してはならない。	Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.  識別性を損なう煩雑なパターンの上に、表示をしてはならない。
 保護領域の外であっても、デザイン要素の一部としてロゴを使用してはならない。	 ロゴと枠を一体化させてはならない。	 他のロゴやイラストと一体に見える組み合わせをしてはならない。	 文章中にロゴを使用してはならない。ただし、イベント名称へのロゴ使用は可。 ※ブランドマネジメント部への事前相談は必要。	 規定以外の連続表示をしてはならない。
 金型、造形物において、スローガンの文字の再現が困難な場合はスローガン付きロゴを使用してはならない。	 識別性を損なう強いパターンの上に、表示をしてはならない。	 ブランドスローガンの書体や位置を変えてはならない。	 規定以外の組み合わせをしてはならない。	
 ロゴタイプの間隔を変えてはならない。	 他の書体に変えてはならない。	 ロゴと枠を一体化させてはならない。	 「UQ」部分だけで、表示してはならない。	

UQ mobile ロゴは、原則として白い背景に表示します。

一方、背景色が濃い場合、または写真の場合などにおいて、ネガティブ表示が使用できます。
禁止の例を示しますので参考にしてください。



良い例	背景色との関係でブランドロゴの視認性が悪くなる場合は、ネガティブ表示を使用してください。ただし、白抜きロゴが明瞭に確認できる濃さのベタ塗り背景の場合に限ります。 	写真・イラスト等において、ブランドロゴが識別できる場合は、フルカラーで表示してください。 	視認性が悪い背景色の場合は、画面上部に白帯をとって表示することもできます。 
禁止の例	ブランドロゴがフルカラーで再現できる場合は、視認性が良くても別の色で表示してはいけません。(無彩色を含む) 	写真・イラスト等において、ロゴの視認性が低い場合は、表示してはいけません。 	ブランドロゴの識別性が悪くなる背景色の上に、表示してはいけません。 

他社との協業やコラボ等の関係性を示す際は「×」又は「|」を使用してください。

何らかの事情により記号が使用できない場合は、記号なしで併記可能です。

その際、提供主体となる側の企業を原則、左側に配置してください。

ただし、当社ロゴとグループ会社ロゴを併記する場合は企業間の関係性(親子関係)を考慮し、「×」「|」ではなく記号なしの併記としてください。(例:共同発信のプレスリリース等)

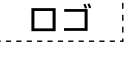
他社との協業やコラボを表現する際は、表現統一の観点から「×」「|」以外は使用しないでください。(&」「and」「with」等)

	「×」表記	「 」表記	記号なし併記 (記号が使用できない場合、又はグループ会社と併記する場合)
他社ロゴ	シンプルを、みんなに。 UQ mobile × 他社ロゴ	シンプルを、みんなに。 UQ mobile 他社ロゴ	シンプルを、みんなに。 UQ mobile 他社ロゴ
グループ会社ロゴ	NG シンプルを、みんなに。 UQ mobile × グループ会社 ロゴ	NG シンプルを、みんなに。 UQ mobile グループ会社 ロゴ	シンプルを、みんなに。 UQ mobile グループ会社 ロゴ

当社が協賛していることの表現を下記ワードを用いて行う場合、使用想定ケースの考え方を参考にしてください。

本ケースでのロゴ使用に限っては文中使用とみなさず、点線のロゴ位置にブランドロゴを使用することが可能です。

協賛先でワードや表現方法が統一されている場合は、その点も考慮して検討してください。

ワード	使用想定ケース
Powered by 	他社が主催、かつ、当社が技術提供をする場合
Supported by 	他社が主催の場合
Sponsored by 	他社が主催、かつ、当社が資金提供をする場合
Presented by   presents	当社が主催の場合
Produced by 	当社が主催の場合
by 	(使用しない)

■ 配置のルール

下線(緑のライン)に合わせて配置してください。

(「by」の「y」ではなく「b」の下合わせ)



禁止事項	スローガン付きロゴを使用してはいけません。
------	-----------------------

UQ mobileとUQ WiMAXの併記ルール

21 保護領域と最小使用サイズ

22 表示色

23 使用禁止例

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

基本デザイン要素

「UQ mobile ロゴ」および「UQ WiMAX ロゴ」のサービスや製品などを同時に記載する場合などを想定し、左から「UQ mobile ロゴ」「UQ WiMAX ロゴ」の順番で併記することができます。その際、縦組みと横組みとも大きさ関係、位置関係、保護領域、最小使用サイズが特定されています。表示色、背景色との関係については前述の規定に準じます。分離表示の場合はこの限りではありません。

最小使用サイズ

「UQ mobile ロゴ」と「UQ WiMAX ロゴ」を併記する場合の最小使用サイズです。規定の最小サイズ以上で使用してください。

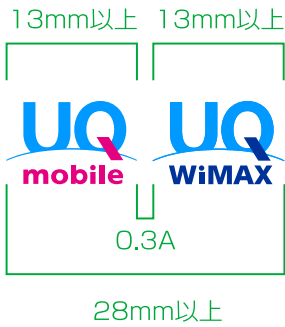
縦組み



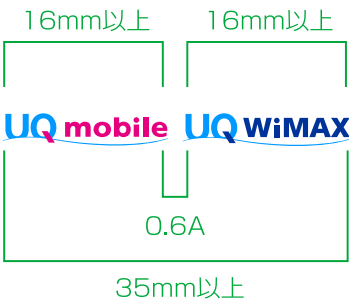
横組み



縦組み

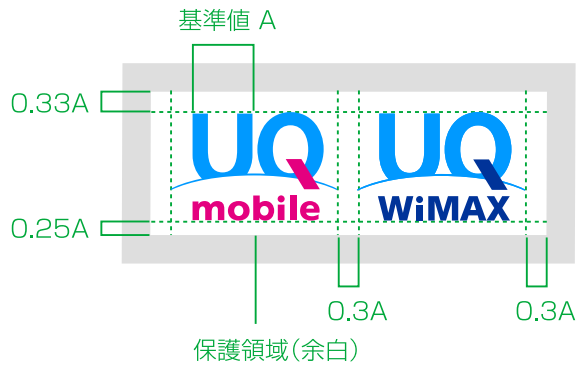


横組み

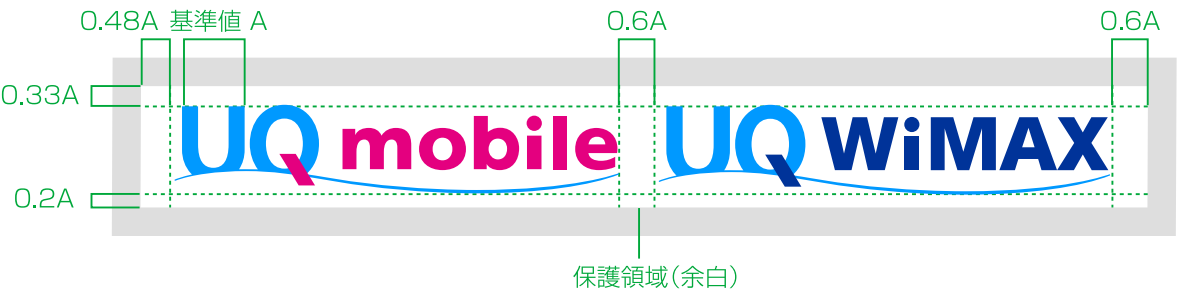


保護領域

縦組み



横組み



本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

■ 色について

「UQ mobile ロゴ」および「UQ WiMAX ロゴ」の表示色（カラー表示、モノクロ表示、ネガティブ表示）については原則、それぞれのルールに準拠します。ただし、基本表示は基本表示同士、ネガティブ表示単色はネガティブ表示同士の併用に限られます。

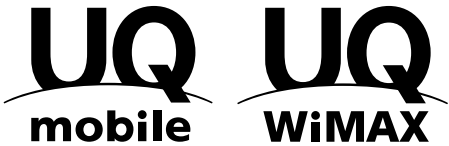
縦組み



横組み



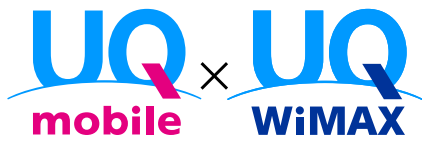
モノクロ表示



ネガティブ表示



「UQ mobile ロゴ」および「UQ WiMAX ロゴ」は、正しく表示されることによって初めて本来の機能を発揮します。
ここに誤りがちな使用例を示しましたので、表示に当たっては十分注意してください。

 重ねてはいけません。	 大小関係を変えてはいけません。	 縦組みと横組みを同時に併記してはいけません。	 保護領域内に他の要素を表示してはいけません。
 斜めに併記してはいけません。	 いずれかのロゴを使用せず、打ち文字と併用してはいけません。	 左右関係を入れ替えてはいけません。	